



既視の街・室蘭 2004



逢魔が刻、小樽 1 2002



交叉する街・小樽 2011



Mikie Ohshima

### 【大嶋美樹絵 profile】

1958年 虻田郡洞爺湖町に生まれる。現在札幌市在住。

1981-1997 二紀展連続入選

1994 道展新人賞 / 1995 道展新鋭作家展出品

1996 古瀬キヨ記念財団北海道女流選抜展奨励賞

1996-1997 さっぽろ美術展出品 / 春季二紀展新人選抜展出品

1997 二紀会同人推挙 / 2012 二紀会準会員賞 / 2019 二紀会準会員賞

2021 女流画家奨励佐伯賞 / 2022 二紀展会員推挙

2025 サッポロ・アートラボ「サラ」レクチャープログラムにて講演「物語の扉を開く時」

現在 二紀会会員

### 作家来場日

7/4 (土)・8/9 (日)・9/23 (水祝)

14:00~17:00 全日とも

展覧会イベント詳細  
小樽美術館協会の  
ホームページへ



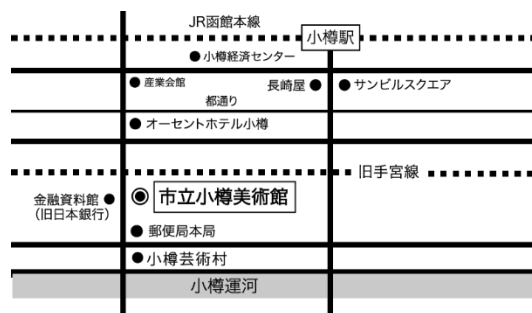
### アーティスト・トーク

日時：7月4日(土) 14:00~15:00

会場：市立小樽美術館 本展会場

お申込み：美術館 TEL 0134-34-0035

やがて満ちてくる光の 2021 二紀展佐伯賞



## 市立小樽美術館

1F 中村善策記念ホール

〒047-0031 小樽市色内1丁目9番5号

tel 0134-34-0035 fax 0134-32-2388

大嶋美樹絵は、大学生の頃から小樽の地に深い思いを寄せ、2002年以降は「小樽」を主題とした油彩大作を二紀展へ継続的に出品してきました。古い町並みや路地を歩き、そこに刻まれた時間、人々の気配を丹念に感じ取りながら、現代の風景と重ね合わせ、記憶の層を可視化する独自の表現を追求しています。小高い丘から港を一望する構図には、過ぎ去った時間の記憶と、静謐でありながら力強い生命感が宿っています。

後年には、小樽と鉄路で結ばれ、日本遺産「炭鉄港」の構成都市である室蘭の工場風景を重ね合わせ、二都市のダブルイメージによる幻想的な心象風景を描くようになりました。

大嶋は小樽の街を歩き、路地や坂道、古い家並みに潜む“昔の時間”と対話し続けています。その作品は単なる風景描写にとどまらず、街の記憶、人々の営みの痕跡、そして時間そのものを描き出すものです。街が少しずつ変わりゆく姿と、30年経っても残され朽ちていく姿を見つめ続けることで、過去と現在、記憶と創造をつなぐ独自の世界を築いてきました。

本展は、2021年二紀展佐伯賞を受賞した洋画家・大嶋美樹絵による初の美術館企画展です。現代の感性で地域の風土と向き合うその制作姿勢は、道内美術界に新たな刺激をもたらすことでしょう。

大嶋の作品を通じて、地域の人々が自らの街を再発見する契機となるだけでなく、地域文化の記録・再生という視点からも意義深い展示となります。